

科目名称	精神看護学Ⅰ（治療的関係の形成）	学年学期	単位数	時間数
		第2学年 前期	1	30
担当教員	藤田 真子	授業に関わる 実務経験	☒ 有（看護師） ☐ 無	

【1】授業概要

精神障害を持つ人が、心の健康を維持増進し回復する時に必要な治療的コミュニケーション技術の具体的な方法を学ぶ。看護者のかかわり方が患者の行動や反応にどのように影響するのかグループワークを通して学ぶ。また、退院促進や地域での生活の支援に向けて精神医療のリハビリテーションの意味を理解し、精神看護における多職種との連携を学ぶ。

【2】学習目標

1. 精神看護の特徴について理解できる。
2. 治療的コミュニケーション技術について理解できる。
3. 精神障害を持つ人の地域生活支援の方法を理解できる。
4. 精神看護技術（認知行動療法、SST）について理解できる。

【3】第1看護学科ディプロマ・ポリシーとの関連性

- 1. 生活者としての人間の理解
- 2. 人間の生命、尊厳、権利を尊重した判断・行動
- 3. 多様な価値観、共感的態度、倫理に基づいた看護実践
- 4. 科学的根拠に基づいた看護実践
- 5. 多職種との連携・協働
- 6. 地域医療の理解と生活の支援
- 7. 自己の資質向上のための主体的な学び

【4】授業計画

	内容	主な授業形態
1	精神障害を持つ人と看護	講義
2	精神科リハビリテーション 1) 精神科リハビリテーションの概念	講義
3	精神科リハビリテーション 2) 家族支援	講義
4	精神科リハビリテーション 3) 社会資源	講義
5	精神科リハビリテーション 4) 社会資源の活用とケアマネジメント	講義
6	看護者の治療的機能①	講義・演習
7	看護者の治療的機能②	講義・演習
8	看護者の治療的機能③	講義
9	患者-看護師関係の基本的技術①	講義
10	患者-看護師関係の基本的技術②	講義
11	精神科急性期看護①	講義
12	精神科急性期看護②	講義
13	精神科におけるセーフティマネジメント	講義
14	精神障害の支援とストレスモデル	講義
15	試験・まとめ	

【5】評価方法

筆記試験と、授業・学習への取り組みで総合的に評価する。

【6】教科書

ナーシンググラフィカ精神看護学①②2020年

【7】参考書

パーフェクト臨床実習ガイド 精神看護 第2版、萱間 真美編 照林社出版
看護実践のための根拠が分かる精神看護技術、第2版、山本勝則他編、メヂカルフレンド社出版

【8】受講生へのメッセージ

この科目では、精神障害を持つ人とのコミュニケーション方法や看護を学びます。看護者のかかわり方が患者の行動や反応にどのように影響するのか、また、精神看護における多職種との連携を学びましょう。